

I 第4期山形県ニホンザル管理計画目標に対する結果

1 加害する群れの管理

(1) 目標 (年度は分析時)

令和3年度 (基準)	→	令和8年度
96 群		96 群以下

(2) 実績

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
群れ数 (基準比)	106 群 (110%)	106 群 (110%)	105 群 (109%)			

2 農業被害額の軽減等

2-1 農業被害額の軽減

(1) 目標

地域	H29～R2 の平均 (基準)	→	R7 (基準比 75%)
村山地域	33,527 千円		25,100 千円
最上地域	66 千円		50 千円
置賜地域	16,777 千円		12,600 千円
庄内地域	10,815 千円		8,100 千円
合計	61,184 千円		45,850 千円

(2) 実績

	R4	R5	R6	R7
村山地域 (基準比)	27,333 千円 (82%)	25,570 千円 (76%)		
最上地域 (基準比)	0 千円 (0%)	5 千円 (8%)		
置賜地域 (基準比)	10,660 千円 (64%)	13,711 千円 (82%)		
庄内地域 (基準比)	5,923 千円 (55%)	5,549 千円 (51%)		
合計	43,916 千円	44,834 千円		

2-2 人身被害の防止等（加害レベル5相当の加害群れ数）

（1）目標（年度は分析時）

地域	R3（参考）		R8（R3比50%）
村山地域	13群	→	7群
最上地域	0群		0群
置賜地域	0群		0群
庄内地域	0群		0群

（2）実績

地域	R3	R4	R5	R6	R7	R8
村山地域 （基準比）	0群 （0%）	0群 （0%）	0群 （0%）			
最上地域 （基準比）	0群 （0%）	0群 （0%）	0群 （0%）			
置賜地域 （基準比）	0群 （0%）	0群 （0%）	2群 （-%）			
庄内地域 （基準比）	0群 （0%）	0群 （0%）	0群 （0%）			

※第3期の令和3年度までは、レベルとして「人馴れレベル」と「出沒レベル」を使用していたが、特定鳥獣保護・管理計画作成のためのガイドライン（ニホンザル編・平成27年度）に合わせて第4期の令和4年度からは「加害レベル」を使用している。「人慣れレベル4」は「加害レベル5」に相当するものとして扱う。

3 被害地区における対策の実施

令和2年度にニホンザルが被害を発生させている159地区に対する割合

（1）目標（年度は分析時）

	令和3年度		令和8年度
A 農作物被害対策 （電気柵等侵入防止柵の設置・管理）	105地区 （66%）	→	127地区 （80%）
B 生息環境管理 （刈払い・緩衝林帯整備、伐採の実施）	47地区 （29%）		80地区 （50%）
C 追払い等 （追い払い、テレメトリー調査、その他）	139地区 （87%）		151地区 （95%）

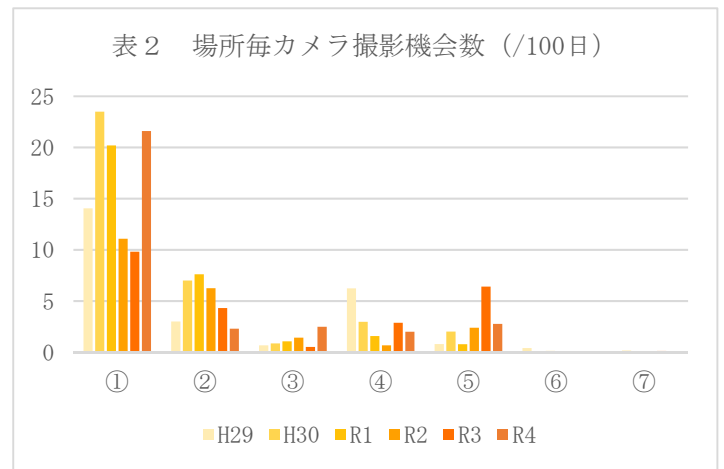
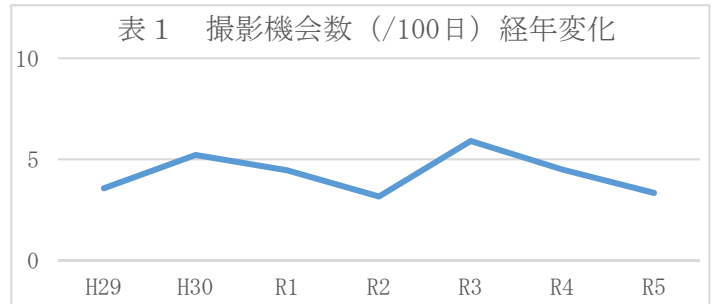
（2）実績

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
A	108地区 （68%）	180地区 （113%）	200地区 （126%）			
B	37地区 （23%）	64地区 （40%）	60地区 （38%）			
C	144地区 （91%）	242地区 （152%）	253地区 （159%）			
参考	被害地区 160地区	被害地区 258地区	被害地区 270地区			

II 第4期山形県ニホンザル管理計画モニタリング結果

1 生息状況（生息動向）

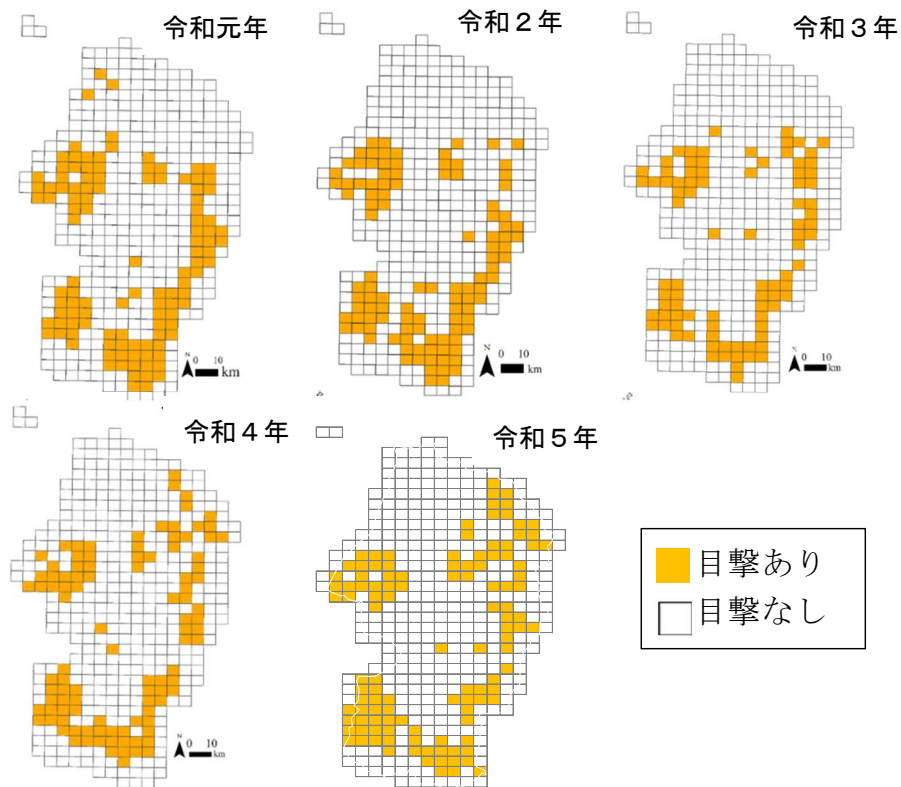
内容：自動撮影カメラを用いて、里山林（鶴岡市8カ所）における生息動向と行動の変化を調査



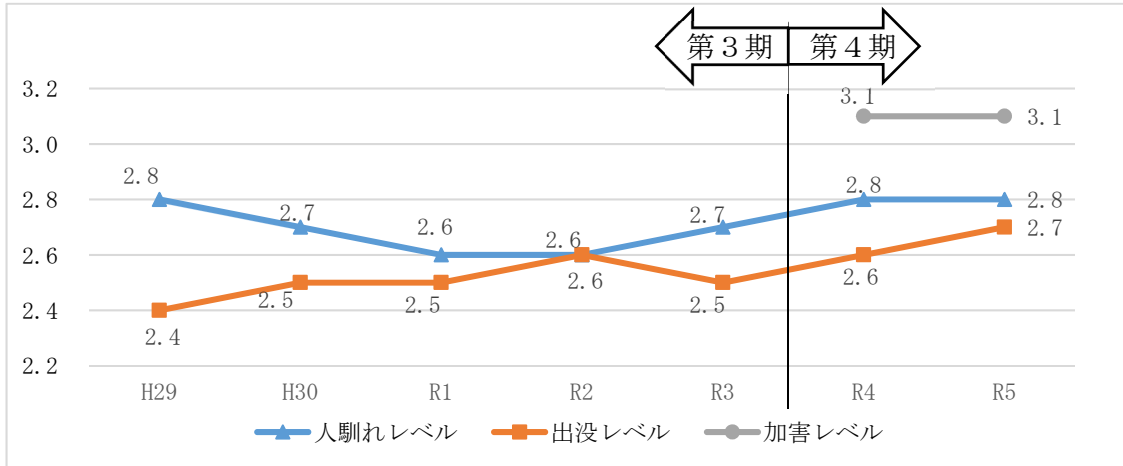
2 生息状況（状況変化）

内容：市町村アンケートにより目撃や被害の発生等変化把握

【目撃】

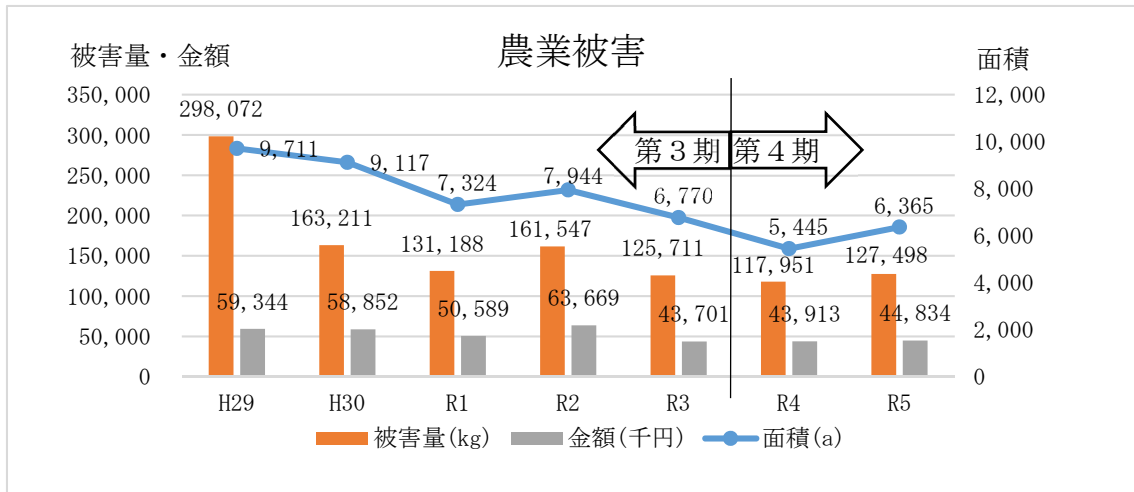


【人馴れレベル、出没レベル、加害レベル】



3 被害状況（農林業被害）

内容：被害の品目・樹種、面積、被害量、金額、その他



4 捕獲情報（捕獲数）

内容：個体数調整、有害鳥獣捕獲許可による捕獲数

